

平成 26 年度 学校経営計画

1 めざす学校像

生徒の無限の可能性 (No Limit) を引き出し、自己肯定感をはぐくむことにより、

本校に入学した生徒の全員が学業に部活動に学校行事にがんばって卒業する学校、生徒それぞれが自己実現を果たし希望の進路に向かって歩めるような学校をめざす。そのために、学力向上にしっかりと取り組む。また、個に応じた教育を推進するとともに、一層きめ細かな指導を行い、基礎学力を確実に身につける教育を実施し、卒業時には生徒全員が自己実現できる夢と希望に溢れる学校になることをめざす。

1. 生徒の笑顔が溢れる学校
2. 保護者や地域から信頼され地域に貢献し愛される学校
3. 生徒の夢と希望を育み自己実現がかなう学校

2 中期的目標

(1) 生徒の無限の可能性 (No Limit) を引き出し、自己肯定感をはぐくむことにより、入学した生徒が全員ががんばって卒業できる学校にする。95%以上の卒業率をめざす。

- 生徒の良いところ、伸びるところを引き出す指導の在り方を研究し、実践に移し、生徒の自己肯定感を育むように全力で取り組む学校にする。
- (2) から (6) の目標によって、「魅力ある学校づくり」「面倒見のよい学校づくり」を推進し、「入学した生徒が全員ががんばって卒業できる学校にする」ための方策とする。
- 教育相談システムを充実させ、生徒の状況を把握し、よりよい方向へ導くような取り組みを充実させる。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用など外部機関との連携を密に行う。
- 学校生活支援チームを充実させ、退学防止へ全校一丸となるように取り組む。

(2) 確かな学力の定着へ向けた取り組みを推進する。

導入した専門コースの一層の充実を図り、看護系及び保育系の進学希望者の進路を実現させる。

2年次及び3年次の専門コースの各科目、教養コースの各科目の教材開発を継続して行う。

○「分かる授業」の推進

1年生、2年生で実施している国語、数学、英語で習熟度別授業について、常に、学習の到達目標を見直すと共に、さらなる効果的かつ有効的な授業展開の工夫改善に取り組む。大学進学者30名以上を定着させ、近畿大学以上に合格させる。

○専門コースの充実 看護系・保育系の希望者を90%以上合格させる。

「環境科学コース」・・・理科系に興味のある生徒を集め、その能力を高める。ホテルの人工飼育、農業体験等との関連付けにより、自然環境を守る意識をもつ人材を育成する。看護系の針路に対応できるカリキュラムを開発する。

「国際文化コース」・・・4年制大学への進学希望者に対して大学で学ぶ意欲を引き出すと共に大学へ入学後、授業について行ける学力を身につけさせる。日本の伝統や文化についても学び誇りを持つ人材を育成する。保育系の針路に対応できるカリキュラムを開発する。

○学校設定のコースの授業の充実

義務教育段階の数学(算数を含む)、理科等の学び直しを行い、社会に出て困らないための基礎学力を徹底して定着させる取り組みを行う。就職希望者の3月末決定率95%を定着させる。

○漢字力、英語力の開発及び定着

漢字力の定着

1年生終了時に全生徒に漢字検定を受けさせ、漢字力について全国標準の力と自信をつけさせる。4級以上の合格者を50%以上とする。

英語力の定着

2年生終了時に全生徒に学力に応じた英語検定を受けさせる。全員4級以上の修得を目指す。全国標準の力と自信をつけさせる。

○モジュール授業やグループ学習など

基礎学力の定着に資する、モジュール授業を教養科の授業以外にも導入する。またグループ学習などを取り入れた教育活動を行う。そのため先進的な学校への視察などを行う。

(3) 部活動の活性化 加入率50%をめざす。

○部活動による指導により、生徒の社会性・自主性を涵養する。

○部活動加入率をあげることにより、学校に対する帰属意識を醸成する。

(4) 生徒が個々に抱えている進路目標を達成すべくキャリア教育の充実に取り組む。卒業時には進路未決定者を0にする。

○3年間を見据えた指導計画によるキャリア教育を充実させる。

○就職希望者は100%の合格をめざし、徹底した学力をつけさせる。

○大学進学も十分可能であることを1年生から自覚させ自身を持たせるとともに目標に向かって学習する意欲を引き出す。

○グアムへの修学旅行を実施し、グアムの高校生徒との国際交流を推進し定着させ、生徒のグローバルな視点を持たせる。

(5) 環境教育の推進及び地域貢献をおこない、地域にはなくてはならない学校となる。保護者による認知度を80%以上にする。

○居心地のいい学校となるように、花壇の充実やベンチの設置推進など、学校のオアシス化によるコミュニケーション能力の涵養を図る。

○ホテルの人工飼育や農業体験などにより地域やとの交流を推進し、関係諸機関と連携し、環境を守る人材を育成すると共に地域の環境保全の核となる。

○ハートピア泉北(老人介護施設)や太平寺幼稚園、福泉中央保育所など地域の施設との交流を推進し地域に根を張ると共に、生徒のコミュニケーション能力や自尊感情を養う。

(6) ICTの活用 分かりやすい授業を実現し授業満足度80%以上にする。

○全ホームルームクラスに導入した電子黒板を活用する授業を積極的に応援し、分かる授業の取り組みを推進する。

○教材を共通のコンテンツとして電子データで作成し、同一の教科で同一レベルの教科指導が行えるようにする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
(1) 卒業できる学校 全員ががんばって	1. 生徒の無限の可能性を引き出す 2. 学業にがんばらせる 3. 教育相談の一層の充実	1. 「ほめて育てる」「励まして育てる」あり方を常に心がけ、生徒の自尊心を育てる。 ・一層の「魅力ある学校づくり」「面倒見の良い学校づくり」のため(2)～(6)の中期目標達成の為、「自尊心をはぐくむ」親切的な指導の在り方をOJT等により一層推進する。 2. 全学年募集学級+1学級による少人数展開(35名学級)授業による、きめ細かい教科指導、学級指導を行う。 ・目標をもたせ、規範意識を涵養し、努力して進級・卒業させる。 3. スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用による、生徒支援・生徒理解の推進する。	1. 学校教育自己診断による学校に対する満足度に対する指標を平成25年度の保護者満足度90%以上を維持する。 学校に行くのが楽しいという生徒を平成25年度の80%以上を維持する。 2. 全学年、募集人数+1学級による少人数展開授業を平成27年度も実施する体制を整えることができたかどうか。 2及び3. 退学者・留年生・懲戒処分者を前年度比20%減とする。	
(2)(6) 確かな学力の活用 の定着及び	1. わかる授業の一層の推進 2. 漢字力・英語力の向上	1. 全ホームルームクラスに導入した電子黒板を活用した研究授業など授業改善をおこなうための研修を充実させる。 2. モジュール授業、グループ学習など先進事例の視察を行う。 3. 漢字力、英語力を養成するために、1年生全員に漢字検定、2年生全員に英語検定を受検させるとともに、4級合格率増加のための方策をとる。	1. 電子黒板を活用した授業を現在の2割から3割に増やす。 学校教育自己診断の授業がわかりやすく工夫されているという生徒の満足度を平成25年度65%からあげる。 2. 校内研修で成果を還元する。 3. 1年で漢字検定4級合格率が40%以上をめざす。 国際文化コースにおける英語検定4級合格率50%以上をめざす。	
(3) の 部 活 性 化	1. 部活動の加入率をあげる	1. 加入率の増加させる。 顧問による中学校訪問を定着させる。	1. 現在30%の加入率を35%とする。	
4 0 (4) 進 路 指 導 の 充 実	1. 大学進学希望者に対する指導の充実 2. キャリア教育の推進	1. 大学との連携を継続するとともに新規連携校を模索する。 H25年度の取り組みを継続し、桃山学院大学・ブール学院大学・帝塚山学院大学・太成学院・大学近畿大学等との連携を継続するとともに強化する。 ・保護者に対して奨学金や国の教育ローンの説明会を1学期に実施し、大学進学への資金計画をサポートする。 2. 看護系・保育系の針路に対応した指導を開発する。 3. グアムへの修学旅行を実施し、グアムの高校生徒との国際交流を推進し定着させ、生徒のグローバルな視点を持たせる。 4. 学年主導から進路指導部主導のキャリア教育に転換し、3年間を見越したキャリア教育を推進する。	1. 大学進学者数30名以上を定着させる 2. 看護系、保育系の短大、専門学校希望者を合格させる。 3. グアム修学旅行にたいする学校教育自己診断の生徒・保護者の認知度をあげる。 4. 平成26年度の年度末の就職決定率95%以上を定着させる。 就職試験1次合格率を60%以上を定着させる。	
(5) 環 境 教 育 の 推 進 及 び 地 域 貢 献	1. 校舎内外のオアシス化 2. ホタルの人工飼育継続及び発展 3. 近隣施設や地域との交流の推進	1. 花壇づくりにより環境教育を推進するとともに、校舎内外のベンチ等を充実させ、会話が弾む学校づくりを推進する。 2. H21年度から開始したホタルの人工飼育を改良し幼虫の生存率を上げる。 ・サポーターとしての保存会と連携を深める。 3. ハートピア泉北(老人介護施設)や太平寺幼稚園、福泉中央保育所など地域の施設との交流を推進する。 ・農業実習を通じての地域との交流を推進する。	1. 花壇や校舎内外のベンチをトータルで10以上増やす。また、気持ちを和ませるオブジェ等を5ヶ所以上の設置する。 2. 保存会との連携により平成26年の6月には100匹以上の成虫を乱舞させる。 3. 地域、生徒と近隣施設との交流を10回以上おこなう。	